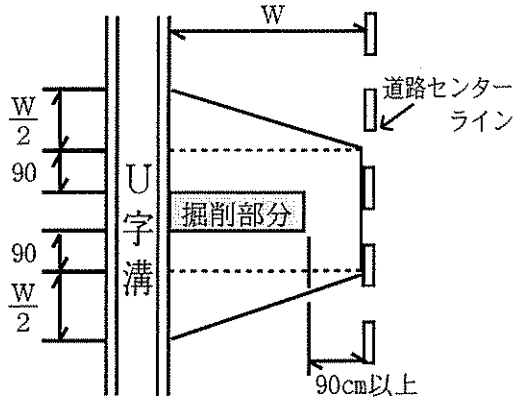


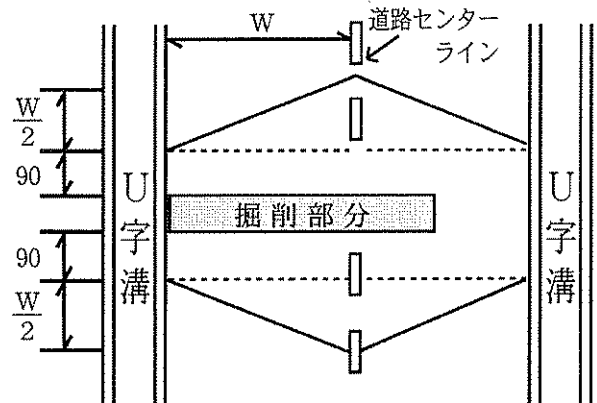
復旧組成標準図

復旧図 A



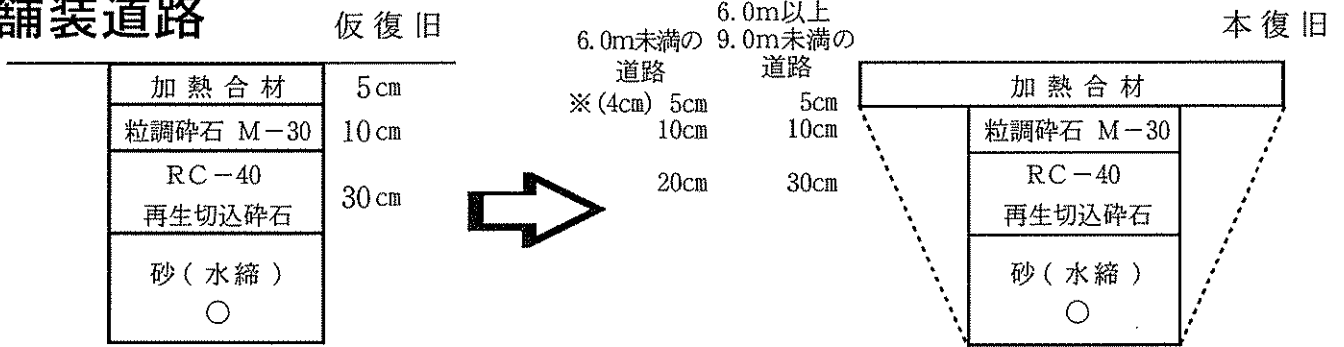
埋設管工事で掘削した場所から道路センターまで90cm以上ある場合は半面復旧
(電柱・標識等は除く)

復旧図 B



埋設管工事で掘削した場所から道路センターまで90cm未満及び掘削場所が道路の半面を超える場合については全面復旧

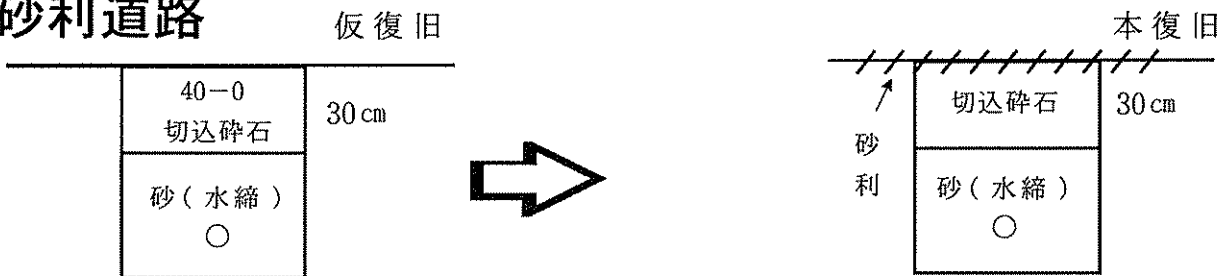
舗装道路



(再生材使用可)

※開発により築造された道路で、道路全面、半面復旧を行う場合

砂利道路



※ 1. 復旧組成は原則として上図のとおりとする。

1. 埋戻しは路床、下層路盤については20cm以下、上層路盤については15cm以下で一層あたりの仕上厚とする。

1. 発生土の埋戻しは禁止する。

1. 埋戻し後、ただちに仮復旧を行い仮復旧後1~2ヶ月で本復旧を行うこと。

1. 復旧組成工事写真を提出すること。

1. 復旧面の補償期間は占用期間中及び完全に復旧するまでとする。

1. 舗装厚が5cm以上の場合は現状にあわせて本復旧すること。

※ 1、2級道路、都市計画道路の復旧にあたっては、事前に調整して下さい。